

## 130201社会福祉施設における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	15~16	施設内トイレにおいて、車椅子を使用し、全身麻痺に近い利用者のトイレ介助を職員2名（本人含む）で行っていた。30代の男性職員が紙オムツを交換し、被災者は、洋式便器の横から無理な姿勢で介助を行い、利用者の体を全身の力をふりしぼって抱きかかえ、その動作を2~3回行っていた際、左の背中に激痛があり負傷した。	63	19	921	50 ~ 99
2	2017	12	15~16	居室ベッドに寝ている利用者に移乗する際、利用者がベッドの下の方に寝ていたため、ベッドの上の方へ移乗させようと足を踏ん張ったとき、左足脛に激痛がはしった。	42	19	911	50 ~ 99
3	2017	12	8~9	出勤後、作業棟事務所に1人であるとき、窓枠についているブラインドの片方が外れていることに気づき、コマ付きの椅子に乗り、そのブラインド全体を外そうとしたところ、椅子が動き、バランスを崩して腰から落下した。	61	1	371	30 ~ 49
4	2017	12	13~14	利用者宅で圧力鍋を使って筑前煮を作っていて、出来上がり、蒸気を抜いて蓋を開けようとしたときに爆発し、両内腿を火傷した。	46	11	379	10 ~ 29
5	2017	12	19~20	保育園勤務終了後に施錠を確認して園舎に戻る際、慌てていて足元をよく見ていなかったため、保育園の庭のテラスの段差で躓いて転倒した。その際、めすき板の隙間に左手小指がちょうど挟まり、小指側に体重がかかる状態で手の甲が不自然に曲が	52	2	417	10 ~ 29

				り、小指つけ根が折れ曲がった。				
6	2017	12	10~11	利用者宅においてヘルパーが通常出入りしている窓から外へ出ようとしたところ膝をひねって着地してしまった。利用者が車椅子利用の為玄関の施錠ができず、いつも居室の窓から出入りしており、高低差があるため注意して出入りしていた。整形外科受診の結果、右膝内側側副靭帯損傷、半月板断裂の可能性との診断を受けた。	42	19	921	30 ~ 49
7	2017	12	12~13	薬局建物の入口で、次の場所へ移動しようとしたときに、その建物の屋外花壇ブロックの端に足をとられて転倒した。とっさに左手を前に出して受け身をとろうとしたが、左肘に無理な姿勢で負荷がかかってしまい、左肘関節脱臼を受傷した。	44	2	418	1~ 9
8	2017	12	14~15	施設の医務室で、治療用ベッド上の壁にあったクリスマス飾りを片付けるため、踏み台からベッドに乗り作業をしていた。ベッドから踏み台へ移動した時に、踏み台が破損し転倒し、気が付いたら左手首が曲がっていた。	59	1	371	50 ~ 99
9	2017	12	11~12	利用者宅へ向かう為私有車にて運転中、道路上で右折するため停車したが、後続の大型トラックの前方不注意により追突された。首から肩にかけて痛みが強く、病院へ救急搬送され治療を受けた。	37	17	221	30 ~ 49
10	2017	12	8~9	デイサービス送迎車準備のために外を歩いていたところ凍結した路面で滑って転倒した。腕に強い痛みがあり、その場から動けなかった為、駆けつけた職員が救急車を要請し、病院へ搬送された。	59	2	719	10 ~ 29
11	2017	11	17~ 18	施設用のトイレ付近において、壁に掛けているホワイドボードに記入している時、後ろから施設利用者に押され、柱の角で顔面を強打し転倒し、口、首、顔、足を負傷した。	57	6	419	10 ~ 29
12	2017	11	9~	梅畑の斜面で脚立（2m）に乗っての剪定作業中に、地面に落下	45	1	371	10 ~

			10	した。					29
13	2017	11	8～9	講習受講のため、大学へ出張中、受講会場に入室する際、引き戸サッシの段差に左足を打ち、躓いて転倒し、左第5中足骨を骨折したものである。当日は、痛みがあったが最後まで受講し、自宅で湿布を貼り様子を見ていた。翌日に腫れがひどくなってきたため受診したものである。	40	2	417		30 ～ 49
14	2017	11	10～11	施設建物の入口玄関ドアにおいて、玄関ドアのサッシを拭いている時に足を捻って転び、立ち上がってサッシを再び拭こうとしたところ、痛みが走りしゃがみ込んでしまい、立ち上がることが出来なくなり、右足首を骨折していた。	50	2	921		30 ～ 49
15	2017	11	14～15	利用者と一緒に消防訓練を行った。利用者を抱きかかえて非常口の段差をおりるという訓練時、バランスを崩して利用者を抱きかかえながら倒れた。	38	2	417		30 ～ 49
16	2017	11	18～19	利用者宅より事業所へ帰社途中、交差点を渡り、自転車道を走っていた時、左後方のコインパーキングから出ようとしていた車にぶつけられ、自転車ごと倒れ、負傷した。	61	2	231		1～ 9
17	2017	11	16～17	廊下を移動中に、一部が濡れているのに気付かず、足を滑らせてしまい、右足から臀部にかけて床に打ち付けてしまった。	50	19	921		10 ～ 29
18	2017	11	9～10	戸外において、3～5歳児の戸外遊びの保育従事中に危険箇所（犬走りの段差）に上がった児童を注意しようと、身体の向きを変えようとした際に、バランスを崩し、左足首を捻ってしまったものである。	62	19	921		10 ～ 29
19	2017	10	14～15	台所のカウンター前において、お膳を下げていく際、床にこぼれた水で足を滑らせ転倒。痛めていた右膝を捻ってしまった。違和感あり、湿布を貼り様子観察。入院しての加療となった。	73	2	417		10 ～ 29
				利用者を自宅に送りに行き、玄関ドアを開けたところ、飼い犬					30

20	2017	10	12～ 13	が飛び出してきて左足をかまれた。逃げたときに転倒して右足を骨折した。	41	8	719	～ 49
21	2017	10	16～ 17	廊下で探し物をした後、作業室に入ろうとして作業室手前にある台車に引っかかった。両手で板状の段ボールを持っていたため足元が見えなかった。咄嗟のことでその時の状況は覚えていない。右足をひねったような痛みがあったが我慢できる程度だったので、作業室に戻り10分程度作業を続けた。帰宅するため上履きのスニーカーを脱いだら違和感があり、右足甲が腫れていた。右足第五中足骨骨折と診断される。	48	3	611	30 ～ 49
22	2017	10	12～ 13	訪問介護サービスで訪問先から次の訪問先に移動中、駅近くを自転車で走行していた際、道路端に停車していた車の運転席側のドアが突然開いた。このとき、ドアに接触し、被災者は転倒し、打撲負傷した。	34	2	362	10 ～ 29
23	2017	10	16～ 17	延長保育の時間中、倉庫前にいた園児1人が近くにいた友達を噛もうとしていた。それを止めようと畳の所から小走りで向かっている途中で滑って転び、左手を床につき負傷した。	63	2	417	30 ～ 49
24	2017	10	15～ 16	体重のある利用者を車いすからベッドへ移乗介助する際に足を捻り、歩行が困難な程の痛みがあった。	53	19	911	50 ～ 99
25	2017	10	11～ 12	2階実習室2で介護の仕事をしている時に、両下肢機能障害（歩行は不安定であるが可能）のある体重66キロの利用者を立たせようと、自分の左腕を上体にまわし、右手で左腕をつかみ立ち上がろうとした際、腰を捻挫した。	33	19	921	300 ～ 499
26	2017	10	12～ 13	当施設（グループホーム）のリビングにおいて、窓の網戸を開けようとして網戸が開きにくかったため、網戸の調整をするため椅子（高さ約45cm）を使用して窓枠（高さ約80cm）に上がり作業をした。作業後窓枠から下りるため椅子に足を乗せよう	74	3	371	10 ～

				としたが、踏み外し落下した際、近くの台所カウンターに手を伸ばしてつかまろうとしたが、つかめずに右手首をぶつけてしまい負傷したものの。					29
27	2017	10	8～9	当社施設内2階食堂にて、朝食後の服薬済みの空袋を回収しようと振り向いた際、真後ろにいた利用者様の車イスのフットレストに当該職員の足がぶつかり転倒。右肘から着地し、右肩、右膝も強打した。	53	2	362		50 ～ 99
28	2017	9	15～ 16	当施設内敷地の駐車場において、当苑主催の開苑祭終了後の後片付けの作業を行っていた、当該人がステージ上部に設置していた看板の撤去作業において、脚立（1.9m）の最上部に座っていたが、中段に降りようとしバランスを崩し重心がずれて脚立が傾き1.6m程の高さから地面（アスファルト）に転落し、身体を損傷した。	56	1	371		30 ～ 49
29	2017	9	9～ 10	当日、駅内に於いて、被災者が障害者移動支援で利用者様を通院のため付き添いしていたところ、電車降車後、エスカレーターに乗り降りた時に利用者が見つないでいた左手を振り切り突然走り出し追いかけた時、つまずき、前のめりに左手から顔を打つように倒れて、左手首と前歯を負傷した。	67	2	417		10 ～ 29
30	2017	9	15～ 16	デイサービスの送りの時、送迎車が円滑にいく際、送迎車から家へ誘導が必要なお客様の為に、自転車でお客様宅へ向かう途中、転倒し骨折、自転車のチェーンが外れた事が原因である。	66	2	362		10 ～ 29
31	2017	9	11～ 12	3階ユニットトイレで、トイレ介助のため、入居者の正面から中腰で両脇に手を入れて抱きかかえている時に、入居者が足に力が入らず、ほぼ全体重（45kg）を被災者が支えていたため、腰に痛みがはしり負傷した。負傷日当日は耐えられる痛みだったためがまんして仕事をしたが、家に帰ってから痛みが増して動けなくなり、翌日は仕事を休み自宅療養し、病院を受診した。	38	19	911		50 ～ 99
				ユニット型特養の現場にて各居室介護中（移乗排泄更衣等）右					

32	2017	9	8～9	手首に違和感を感じる、時間が経過するにつれズキズキと痛みを感じ始める、勤務後はそれほど痛みは気にならなかった、そして翌朝になると右手首小指側に激しい痛みを感じる。物が持てず、手首に何かが触れるだけでも痛みがあり、日常生活にも支障がでる程になり、整形外科を受診する。	26	19	719	100 ～ 299
33	2017	9	21～ 22	利用者に話しかけていたところ、別の利用者に後ろから首～肩のあたりをつかまれ、おどろいて急に振り向いた時に首を捻って痛める。	63	90	911	50 ～ 99
34	2017	9	11～ 12	遅番のため、勤務に入る、遅番は昼食当番のため、台所で昼食の準備中、コンロ付近より左側へ移動しようとした処、スリッパが中途半端な形となり左足を中心とした様に半回転し転倒受傷したもの、後日、骨折と診断され手術をした。	66	2	417	10 ～ 29
35	2017	9	11～ 12	お風呂場にて利用者様の入浴介助中、体を洗っている際に少し痛みが走ったが、そのままサービスを続けていた。その後、転倒防止の為、床の水を拭いていたら痛みが強くなった。	53	19	719	10 ～ 29
36	2017	8	10～ 11	宅老所にて調理中、鍋を持っているときに転んで、煮汁が足にかかり、右足の甲を火傷した。	48	11	379	1～ 9
37	2017	8	7～8	駐車場から歩いて移動中、職員玄関手前の外階段で足を踏み外し、2段上から転倒し、右膝を強く打撲した。	58	2	413	100 ～ 299
38	2017	8	10～ 11	施設内の1階玄関エレベーターエントランスにて、利用者の送迎待機で立っていた被災者が、デイルーム側に体を右回りに変更した。その際にちょうど、廊下に設置されたタイムレコーダーを打刻するためにデイルーム通路から玄関エレベーターエントランスに曲がってきた厨房職員と左肩が接触した。被災者は、1～2歩後ずさりして尻もちをついた際に、床に左後頭部や左肘を打ちつけ、脳震盪を起こした。	60	2	921	50 ～ 99
				本館2Fフロアにて、昼食の品出し中、入れ物の蓋を配膳台の箱				100

39	2017	8	11~ 12	に戻すため床を歩いたとき、床が濡れていたため靴が滑り、転倒した。	36	2	416	~ 299
40	2017	8	8~9	利用者を追いかけていた際、目の前に椅子があったため、中腰で椅子をどかそうとした際に腰に痛みがはしり、そのまま立ってずにしゃがみこんだ。	45	19	611	50 ~ 99
41	2017	8	13~ 14	有料老人ホームデイルームベランダにて、昼食後の入居者のエプロンを干して、身体の向きを変えようとした際、ベランダの段差に右足を踏み外し、右足甲を骨折した。	70	2	416	50 ~ 99
42	2017	8	15~ 16	利用者を車椅子からベッドへ移動する際、利用者が耳元で大きい声を出し、肩に置いていた手がぶらんと下がってしまった。落としてはいけないと思って上にあげたとき、両手首に力が入ってしまい、右手に痛みを感じた。	65	19	921	10 ~ 29
43	2017	8	18~ 19	入居者の居室を訪問し、洗濯物を降ろそうとしたところ、ころうっかりして介護ベッドのキャスターの金属部分に左足をぶつけた。打撲と思い湿布にて様子を見ていたが痛みが治まらず病院を受診したところ左足の中指が骨折していた。	45	3	391	30 ~ 49
44	2017	7	9~10	障がい者支援施設の利用者をワンボックスカーで迎えに行き、到着後に車内から後方の扉を開け、転倒防止板（30cm位の鉄板で以下?とする）をまたいで、バンパーに足を掛け、降りる際に踏みはずした。地面に足が届かず?で陰部を打撲した後、車外に転倒。内出血して当日緊急で外陰部の血腫除去手術を行う。リフトは基本外からリモコンを操作して降ろす。リフトが降りたら?は倒れてスロープの役割となる。利用者が多い場合、後方からしか乗り降りできない。	52	3	231	100 ~ 299
45	2017	7	16~17	特別養護老人ホームの入所者の共用スペース（食堂）で、食卓テーブルの前の椅子に座って入所者のおやつ介助をしている時に、他の入所者がお茶を床にこぼしたため、それを拭こうとし	59	2	911	100 ~

				て椅子から立ち上がった。その際に、自分の足がもつれて床に転倒し、右肩を負傷した。				299
46	2017	7	10~11	無縁墓横の階段で、つるをカマで切っている時に、体のバランスを崩し、階段を3段滑り落ちた。右足を踏ん張ったので、仕事が終わって帰るときに、右足首が痛くなった。骨折していた。	73	2	413	50 ~ 99
47	2017	7	13~14	作業室内において、利用者の方の創作活動の支援中に、突然利用者が前方より小走りに近づき、押されたために、後ろにあった机で背中を強打し、倒れたところにあった机の脚の部分でも、強打した。	59	3	911	10 ~ 29
48	2017	7	10~11	入浴介助のため、利用者を抱きかかえ脱衣所から浴室に移動を試みていたところ、突然胸部に痛みを感じ、そのためバランスを崩した状態となり、利用者とともに前方に倒れ込んでしまった。被災者は胸椎圧迫骨折により2~3週間の入院加療、利用者は腰椎圧迫骨折により自宅療養が必要と診断された。	61	19	911	100 ~ 299
49	2017	7	17~18	当施設（療護園）内の会議室で会議テーブルを片付けていて、そのテーブルの脚接続部分が故障していることを知らずに、脚が折りたたまれたままテーブルを移動しようとテーブル面を持ち上げた時に、折りたたんである脚が急に広がり接続部分にあった右手中指の爪を剥がしてしまった。	26	7	379	10 ~ 29
50	2017	7	10~11	特別養護老人ホームにて、入居者様（女性・身長147cm、体重37kg）をベッドに座っている状態から車椅子へ移乗させる際に、横から入居者様の腰部を持ち上げた時に、腰に激痛が起こり、その場で動けなくなった。	52	19	911	30 ~ 49
51	2017	7	5~6	B棟居室内で利用者の起床介助中に、更に別の利用者からのナースコールがあり、その利用者をトイレへ誘導した後、前の利用者介護のため、廊下に戻る際、つまずいて転倒し、左ひざ・右ひじを強く打った。直後強い痛みがあった。レントゲンの結	55	2	416	—

				果、骨折はないが、腫れ・痛みがある。				
52	2017	6	16～ 17	デイサービス裏手の通用口（段差あり）を下りて、両手に1つずつごみ袋を持って、ごみ捨て場へ行っていた。小雨が降っており、通用口の段差を下りた時に足を滑らせ右側の方に転倒した。その際に右手首と右足を負傷した。	52	2	413	10 ～ 29
53	2017	6	9～ 10	送迎を終え、送迎車から降りて車の後ろを通り、玄関へ入ろうと右へ向きを変えようとした際、ぬかるんだ地面に滑って右手をついて負傷した。	51	2	417	30 ～ 49
54	2017	6	13～ 14	脱衣室で入浴準備中、リフト浴用椅子を所定の位置に動かそうと通常より上部を持ったところ、倒れて来た。慌てて支えようとしたが、背もたれから後方へ倒れた際、右手を挟み、中指関節周辺が痛みを伴い、赤くなっていた。出血はなく、手も動かせたので、すぐ入浴介助にあたった。その後、痛みはあったものの仕事にも遅れがあり、手が動かせたので、遅出の仕事を続けた。終了時に腫れが酷くなった。	38	7	379	10 ～ 29
55	2017	6	11～ 12	事業所内のプレイルームで児童とサッカーをしていた時に、ボールの競り合いをしていて、右足を挫いた。	49	3	921	10 ～ 29
56	2017	6	14～ 15	職場の壁にある蜂の巣駆除をするため、机の上に脚立をのせて壁に立て掛け、その上に乗りながら作業していたところ、作業中に下の机が動き出し、脚立と一緒に落下した。その際、左足踵を強打した。	39	1	371	1～ 9
57	2017	6	14～ 15	施設内の廊下清掃を行っていたところ、滑って足をからませ躓いてしまい転倒し、その際に左膝を強打した。当日は痛みはあったが様子を見ていた。翌日になっても痛みが治まらなかった。	75	2	417	50 ～ 99
58	2017	6	11～	利用者宅浴室で入浴介助中、中腰で作業をしていた際、次の動	43	19	921	10 ～

			12	作をしようとしたところ、腰に激痛がはしった。					29
59	2017	6	12～ 13	利用者（32歳男性、自閉症、噛みつき癖あり）の食事中、被災者は当該利用者の監視をしていたが、安全面を考慮して、利用者が手にしていた棒の使用をやめるよう依頼したところ、左肩を噛まれた。再度噛まれそうになったため避けたところ、左指を噛まれた。事故当時、同じテーブルには当該利用者、被災者の他にスタッフが3名同席していた。	36	90	719		1～ 9
60	2017	6	7～8	早朝からの勤務の為、事務所に出勤した。外勤の支度をしながら事務所内を歩いていた時に、コピー機下の木の台の角に左足小指をぶつけた。腫れと痛みがあったが外勤に出かけ、活動を終えて夜に事務所に戻り、所長に報告した。	41	3	522		50 ～ 99
61	2017	5	15～ 16	利用者様宅にて味噌汁を調理中、布巾を探す為に中腰になってまな板を上げたところ、片手鍋の柄に当たり、鍋がひっくり返って味噌汁が右頬・右肩・腕にかかり、火傷をした。	63	11	379		30 ～ 49
62	2017	5	16～ 17	就労場所である施設内にて、通所介助の利用者を介護中、椅子に座っていた利用者をトイレに連れて行くため、利用者の前側から両手を持って立たせた際に、自分の腰に重みが掛かり違和感が残った。その後も介助中に腰を捻ったりすると痛みを感じたが、当日は最後まで仕事をした。安静にしていると痛みは軽減したが、後日にトイレに行ったとき痛みが強くなった。	44	19	911		30 ～ 49
63	2017	5	8～9	デイサービス利用者のお迎え時、駐車場に停めたリフトカーの上主席に利用者の乗り込み介助をした。助手席に座られた利用者に、車外からシートベルトを装着しようとした時、（リフトカーの助手席が高いため、踏み台（高さ25cm程）を使用するが、踏み台を置いた場所が少し斜めになっていたため、踏み台が傾き、バランスを崩し）右足が踏み台から外れ、地面に着いた際、足首をぐねって、後方に転んでしまった。	53	2	379		30 ～ 49

64	2017	5	15～ 16	フロア内で、利用者をソファから車椅子に移乗させようと抱きかかえた時に、ゴキッと音が鳴り動けなくなった。	56	19	921	30 ～ 49
65	2017	5	13～ 14	レクリエーションルームにて、レクリエーションの準備をしている際に、立ててある長机を移動しようとした。長机のキャスターが回りきらなかったために、右足首の上に長机が倒れてきた。	40	6	379	50 ～ 99
66	2017	5	14～ 15	事業場入居者居室内ベッドサイドにおいて、ベッドから車椅子へ移乗介護を行うため、入居者を抱えて立ち上がった際に腰がバキッと鳴り、激しい痛みが走った。	44	19	911	50 ～ 99
67	2017	5	19～ 20	談話コーナーにあるソファに座ってくつろいでいた入所中利用者で認知症男性（84歳、要介護度2）の足元に置いてある痰容器が横転していたので、それを元に戻そうとした当該介護職員が、かがんで手を伸ばした時に男性利用者が右足を上げて、つま先が右脇腹に当たった。	67	6	921	1～ 9
68	2017	5	9～ 10	1階リビングにて、利用者の口腔ケアを行うため、利用者（介護度4、160cm、50kg位）をリビングから洗面台に移動する際いすから車椅子へ移乗させたところ、利用者がまったく立位を保てず、全体重を抱えたため、強く腰を捻る格好になった。日によって利用者の立位状況も変わる為、抱えた時に無理なようであれば、すぐに声を掛けて2名介助に切り替えるように指導した。	24	19	921	30 ～ 49
69	2017	4	10～ 11	病棟ナースステーション出口にて、上の燕の巣から落ちてくる糞を防ぐためダンボールを巣の下に取り付けている時に、脚立から足を踏みはずして転落した。	67	1	371	30 ～ 49
70	2017	4	6～7	女性居室において利用者が排せつ失敗のため自室床に座っており、病弱で足も不自由なため車椅子を使用していた。この時は特に力が入らない様で自力での立位保持歩行は困難だった。利	55	19	921	50 ～

				用者を後ろから抱き起こしてベッドを移動しようと力を入れた時、腰に激痛を感じ立てなくなった。					99
71	2017	4	11~ 12	昼食時、4階の食堂から入所者をトイレに誘導し、その後再び迎えに行こうとした際に食堂出入口の自動扉に足を引っ掛け転倒し、左手橈骨骨折を負った。	48	2	419		50 ~ 99
72	2017	4	14~ 15	当施設内トイレに入っている入居者及び、廊下、ホールにいる入居者を見守っていたときに、危険行為に及ぶ方を発見し、安全を確保しようと動き出した際、パチッと音が聞こえ左下腿に痛みが走り左脚に力が入らなくなり、床に転がってしまった。	54	19	921		50 ~ 99
73	2017	4	14~ 15	利用者宅を訪問するため、マンション入り口のオートロックのインターホンを押し、中から応答があり鍵が開いたので入ろうとしたとき、床に置いたかばんにつまずき転倒して右肩を強打した。	74	2	379		30 ~ 49
74	2017	4	10~ 11	有料老人ホームに派遣労働者として勤務中、老人ホームの居室にて、入居者をベッドから車椅子へ移乗しようとしていた。ベッドの高さ調整を行ったあと、車椅子へ移乗を行った際に腰部と股関節に違和感を感じた。しかし、そのまま業務を続け、別の居室で別の入居者をベッドから車椅子へ移乗したところ、強い痛みが変わり、その後も痛みが続いた。昼食前の時間帯であり、移動動作を急いでしまった事が原因と考えられる。	56	19	921		10 ~ 29
75	2017	4	7~8	利用者をベッドから車椅子へ移乗する際、車椅子へ乗せる寸前で利用者が動いたため、無事着地させようとして自身の上半身を少し捻ったところ、背中を痛めた。	40	19	719		50 ~ 99
76	2017	3	16~17	食堂兼機能訓練室の畳スペースにいる入所者を二人ペアで車椅子へ移乗させていた時、右腰から音がし、痛みを覚え、作業を中止した。（以前から腰痛があったがヘルニアではない）。帰宅後、痛み止めを飲み安静にしていたが、翌日の勤務中に痛みが増して歩けなくなり、腰椎捻挫、外傷性下肢抹消（性）神経	41	19	911		100 ~ 299

				障害性疼痛と診断された。				
77	2017	3	10~11	職場のトイレでトイレ介助をしている時に、腰を痛めた。トイレにて利用者の右麻痺側の右下肢を車イスのペダルから降ろす際に、腰を強く痛めた。その後も、職場で利用者の血圧を測定する際に腰がグリツとなり強く痛めた。	35	19	921	10 ~ 29
78	2017	3	10~11	厨房内下処理室で大根を切っていたとき、誤って左手親指を切ってしまった。	32	8	379	100 ~ 299
79	2017	3	14~15	勤務地（児童センター）園庭で児童と砂場で遊んでいたとき、他児童が鬼ごっこをしており、つまずいて背中に飛び乗って来た。その際に被災職員は中腰だったため、尻もちをつき受傷した。	56	19	921	1~ 9
80	2017	3	13~14	介助後、居室でベッドから降りたときに足をひねり転倒した。	42	2	416	50 ~ 99
81	2017	3	10~11	利用者様のお宅へ伺うため、マンション前に設置されたエスカレーターに乗る直前につま先がタイルの溝にはまり転んでしまい、腕から倒れ込んだ姿勢となり、左腕を負傷した。	58	2	417	30 ~ 49
82	2017	3	16~17	訪問入浴を終え、駐車場に車をまわし、入浴車の後片付けをし、後部スライドドアを左手で閉めようとしたとき、ドアの開閉部においていた右手人差し指をはさみ負傷した。	48	7	231	10 ~ 29
83	2017	3	15~16	利用者宅に向かって走行中、わき見運転をしてしまい、道路左側の電柱に激突した。エアバッグが作動し、右腕と胸部を強打ち骨折した。	54	17	231	30 ~ 49
				ケアハウス入居者居室にて、通常は歩行している体重40kg程度の入居者が転倒していた。床から自力で立ち上がるのが不能なため、被災者が両手で抱え上げベッドに移行してもらった。その				30

84	2017	2	17~18	際、左臀部から爪先に掛けて痛みと腰痛が出現した。数日間様子を見ていたが痛みが治まらないため病院を受診し、椎間板ヘルニアとの診断を受け、手術となる。なお業務の影響で約2年ほど前から腰～左臀部～左爪先にかけての痛みが時々あった。	39	19	911	～ 49
85	2017	2	12~13	研修会場へ行く為に、施設より自身のバイクで向かう途中、左側脇道より急に車が出てきたので避けようとして転倒した。救急搬送となった。（左鎖骨骨折、左足親指骨折）	58	2	231	50 ～ 99
86	2017	2	13~14	園庭にて、子供達の外遊びを監督中に、後方から三輪車に乗った子供に激突され、そのまま後方に倒れた。その際に、膝の裏を打撲した。	50	6	362	30 ～ 49
87	2017	2	14~15	バイクで北に直進中、最初の交差点にて、右方向一旦停止で乗用車が停止したのを確認して直進したが乗用車が出て来て、避けきれずにバイク後輪付近に接触し、転倒する。	49	17	231	100 ～ 299
88	2017	2	12~13	自転車で送迎車を取りに行くため、事務所から事業所前の駐輪場に向かおうとしたところ、事務所前で足を滑らせ、手を地面に打ちつけて負傷した。	73	2	417	10 ～ 29
89	2017	2	9~10	当施設ユニット内トイレで入居者様の、トイレ介助にて車イスから便座に移乗した際、座りが浅かったので奥深く座ってもらおうとして、力を入れた時入居者様の体重がかかり腰に痛みがはしり、全く動けなくなり受傷した。	52	19	719	50 ～ 99
90	2017	2	17~18	利用者のケアを終え自転車で移動中、歩道を右側からスピードを出した自転車に出会い頭衝突し、自車は右側に転倒し右肘と腰部を打撲する。	35	17	362	10 ～ 29
91	2017	2	8~9	自宅より徒歩5分程先の駐車場で縁石（車止め）に躓き転倒し、左足を骨折した。	65	2	417	1～ 9
92	2017	1	12~13	園の行事もちつき大会の片付け中、園児用テーブルをセッティングしようと組み立てようとした際に、手を滑らせてテーブル	34	4	379	—

				を左足親指の上に落としてしまう。				
93	2017	1	16～ 17	お客様を探しながらスーパーの駐車場に戻る途中、坂道の交差点を青信号で渡っている時に足が引っ掛かり、転倒して膝をつき、立ち上がろうとしたときに膝折れした。当初は打ち身で膝をすりむいた程度と思っていたが、痛みが増し、後日、打撲ではなく骨折と診断された。	71	2	417	50 ～ 99
94	2017	1	18～ 19	夜まで勤務し、帰宅するため職員駐車場へ向かった。職員で雪かきはしていたが、圧雪と夕方の冷え込みで滑りやすくなっており転倒し、その際に右手をつき手首を痛めた。しばらくその場に座り込み、気分が悪くなってきたので園に戻り、救急搬送された。	56	2	719	10 ～ 29
95	2017	1	10～ 11	洗面所にて利用者の髭そり介助中、中腰にて介助を行い、姿勢を正そうとした時、腰に激痛がはしり、そのまま動けなくなってしまった。	25	19	921	—
96	2017	1	16～ 17	公園において、障がい児に対する運動プログラムを実施中、走っている際に方向転換をしようとしたところ、右足首を捻って負傷した。	38	19	921	—
97	2017	1	11～ 12	老健施設内の駐車場を小型除雪機で除雪中、雪の状態が水分を含んでいた為、除雪機の雪排出口が詰まり、排雪ロータリーのスイッチを切り、ロータリーが惰性がついて回っていることを失念し、シャーベット状の円錐形の雪を右手で取り除いた時に右手がロータリーの羽根に当たり、グサと感じ、右手の指が折れたような感じが有り、軍手の上から血が滲むような負傷をしてしまった。	73	8	169	100 ～ 299
98	2017	1	11～ 12	障害者施設の業務の一環として利用者と近所の公園を散歩中、興奮した利用者に歩み寄ろうとし、公園内の段差につまずき転倒し、左肩を強打した。	45	2	416	30 ～ 49
				夕食に使用した介護用エプロンを洗濯・乾燥した後、畳むため				

99	2017	1	19～ 20	に、リネン室から室外の作業テーブルに運び出していた。積み上げたエプロンのうち、床に落ちた分を拾おうとしたところ、誤って右足で踏んだはずみで、そのまま前方に滑ってしまい、左膝を床に強打し転倒した。	68	2	417	100 ～ 299
100	2017	1	15～ 16	一般浴場において、入浴前の利用者の足を洗う際、利用者の横側から中腰の体勢で足の裏を洗い、腰をひねり痛めてしまった。その後、足に痺れがあつて仕事が困難となり、休業となった。	40	19	921	50 ～ 99

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。